

ひばり

東国分爽風学園 市川市立稲越小学校

〒272-0831 市川市稲越 3-21-8 TEL 373-8401

<https://ichikawa-school.ed.jp/inagoshi-sho/>

後期の学校評価

校長 吉田 直美

私は季節の植物が大好きです。今は、日本水仙、ろう梅が代表格でしょうか。柑橘類も年末から各家庭の庭で黄色い実をたわわにつけています。先日、東門近くの地域の方に、庭木に実るきんかんをたくさんいただきました。しばらくの間、校長室前の廊下に展示し、「これは何でしょうか」と子供たちに問うたところ、「レモン、みかん、きんかん、ゆず」と回答がありました。集計の結果、子供たちの正解率は57%。私たち大人にとっては一般的な知識であっても、子供にとっては未知の領域なのだなあと、あらためて実感いたしました。本物に触れる学びは大切ですね。

さて、保護者の皆様には12月に令和4年度後期の学校評価を提出いただき、ありがとうございました。結果は1月に公表させていただいた通りです。さらに市川市の肯定値との比較を特徴を踏まえてお知らせいたします。まず課題です。「お子さんの家庭学習の習慣」「お子さんの規則正しい生活習慣」の2項目は、市川市平均よりも6ポイントと4ポイント下回っていました。どちらも低学年のうちから長期対策で取り組むことで、効果が表出する項目といえます。反対に、信頼される学校の5項目すべてにおいて、肯定値が市川市平均より6~17%上回っていました。これを保護者と地域の皆様からの応援ととらえ、これに慢心せず心を引き締めて、子供たちのために子供たちとともに、保護者と地域の皆様にかわいがっていただける稲越小学校であり続けるべく、努めます。

1月は「行く」、2月は「逃げる」と言われます。時の流れの速さにあがらうことなく、子供たちの指導に全力で取り組んでまいります。

2月の主な行事予定

1日(水) 新入生保護者説明会 10:00 クラブ活動⑥最終	15日(水) 保護者有志による6年教室清掃 (3, 4校時)
2日(木) 学校保健委員会5校時 (ブルーリボン受け取り 代表委員の一部)	16日(木) おわかれ集会・おわかれ給食 6年部活動体験(東国分中) 6年保護者会 15:45
3日(金) 6年校外学習	17日(金) 第5回学校運営協議会 16:00
6日(月) 全校朝会	21日(火) PTA運営委員会 10:00 保護者会 1~3年 14:50 4~5年 15:40
8日(水) 定例研 4校時日課 13:20下校	28日(火) 短縮4校時日課 13:30下校
9日(木) 魚の食べ方コンテスト	
10日(金) スクールカウンセラー派遣日	
11日(土) 吹奏楽部 東国分中との合同練習(6年希望者)	
13日(月) 6年 東国分中へ授業参観(6校時)	



5年生が公共交通機関で校外学習実施

1月27日（金）5年生が校外学習に行きました。目的地は新浦安の「トランポランド」と銀座の「凶鑑ミュージアム」です。一般的に校外学習は観光バスで行くのは常ですが、今回は、「旅の過程も道徳学習」と捉えての挑戦でした。全ルートを紹介します。



第一の旅

学校（徒歩）→国分高校バス停（バス）→市川駅（総武線）→西船橋（京葉線）→新浦安駅（バス）順天堂大学正門前（徒歩）→トランポランド着

第二の旅

トランポランド（徒歩）→順天堂大学正門前（バス）→新浦安駅（京葉線）→JR 東京駅（徒歩）→数寄屋橋交差点東急プラザ内 凶鑑ミュージアム着

第三の旅

凶鑑ミュージアム（徒歩）→JR 有楽町駅（秋葉原経由）→市川駅（バス）国分高校前（徒歩）→稲越小学校着

いかがでしょうか。乗り換えの多さや混雑もあり、また全員が座れたり席を譲ったりと、学校での座学では体験できない貴重な学びでした。加えて、バスでも電車でも乗車中の態度が非常に素晴らしく、どこに出しても恥ずかしくないさすが稲越っ子！と胸を張って言える態度でした。さらに、訪れた2か所とも、市川市内の小学校では初ということで、今回の実施にあたり、長期間かけて調査し企画した担任も「取り組んだ甲斐がありました。」とやり遂げた達成感を語っていました。「できないだろうからやらない」ではなく、「やることでできるようになる」ものです。5年生がんばったね。



水筒の中身が自立の一步

ある寒い朝、登校中の子供たちに尋ねました。「水筒の中身は、温かい飲み物が入っているの？それとも冷たい飲み物なの？」と。なんでそんなこと聞くのかなという表情できょんとする子、「知らない」と一言つぶやく子などなど。そこで私が「こんなに寒いのに、冷たい飲み物でも大丈夫なの？」とかぶせて聞くと、2年生の男の子が答えました。「この飲み物はね、寒いから飲むんじゃなんだよ。休み時間に遊んでのどが渴いた時のための水分補給なんだよ。だから僕は寒くても冷たい飲み物にしてるよ」と。なんと明確な回答なのでしよう。あっぱれの回答です。

さて、水筒の中身を子供が自ら決めているご家庭がどのくらいあるのでしょうか。「今日は体育があるから氷も入れてほしい」「今日は雨が降っているし外で遊べないし体育もないから、ぬるいお茶でいいかな」「冷たい水にしてほしい」などと、自分で考えて決めることに意味があると思うのです。そして子供が決めた通り準備してあげる、または自分で準備させる。たとえ「こんな寒い日に氷？」と保護者が思ったとしても、子供が求めたものを準備してあげる。そこで「やっぱり失敗したな。こんな日は氷はいらなかったな」と気づくことが「学び」であり「学習」であり「成長」なのではないでしょうか。

このように、日常の様々な場面における一コマ一コマの積み重ねが、1年、2年と継続していくことで、個々の成長に差がみられてきます。「たかが水筒の中身、されど水筒の中身」と考えて、各家庭での日常にたくさんの教育の場と育ちのヒントがちりばめられていることに気づいていただくと幸いです。